



# 議会だより



## 備えあれば憂いなし

天神中條区防災訓練

### すべがくろ

◇警視庁警備部災害対策課

★たったこれだけで、転びにくくなるヨ♪

雨の日は濡れた路面が滑りやすく危険です。



そこで靴底に「カットパン」を貼ると、滑りにくくすることができます。つま先とかかと付近に貼るだけです！雨の日でも想像以上に、はがれにくいです！

貼る前に、靴底をきれいに拭いてしっかりと貼るのがコツ



有効に使われたか 私たちのお金 ②

公表します 議員の賛否 ⑦

11人が町の課題を問う ⑧

富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



# を認定

歳出は前年度より  
**5億5145万円増**

15日間の会期で開催した。

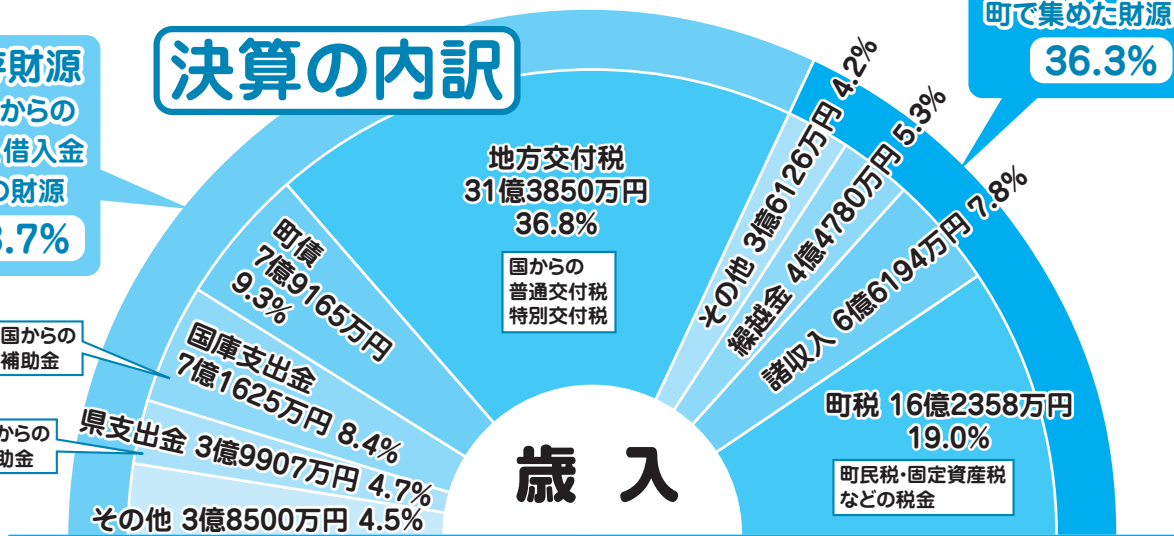
**依存財源**  
国・県からの  
収入、借入金  
などの財源  
**63.7%**

## 決算の内訳

**自主財源**  
町で集めた財源  
**36.3%**

国からの  
補助金

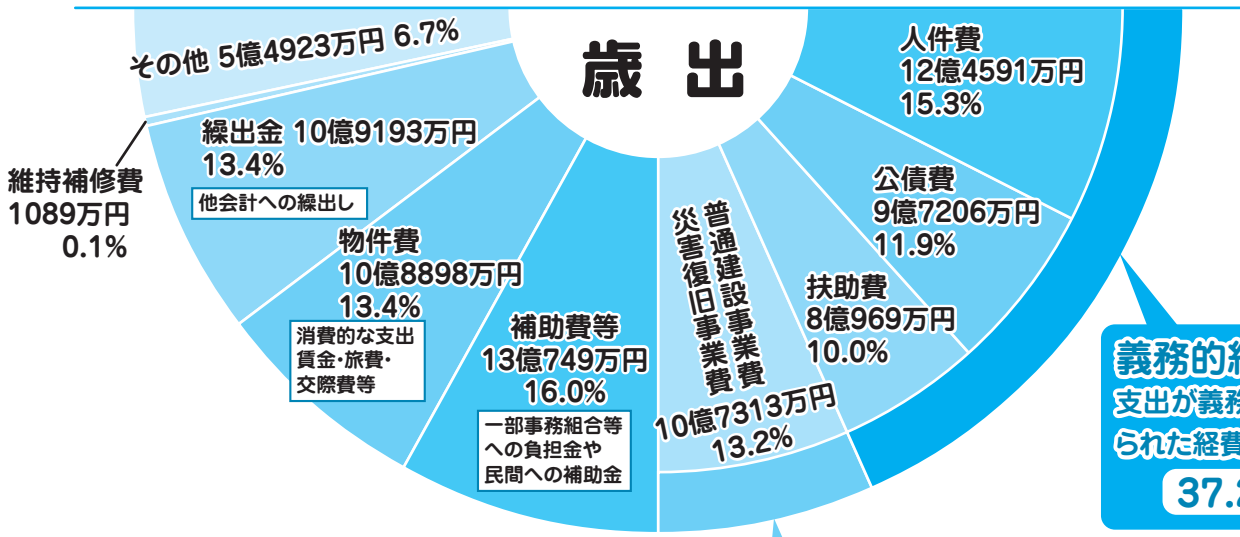
県からの  
補助金



## 一般会計

歳入 **85億2505万円**

歳出 **81億4931万円**



**義務的経費**  
支出が義務づけられた経費  
**37.2%**

**投資的経費 13.2%** 社会資本の整備に要する経費

## 平成29年度 特別会計および事業会計決算(歳出)

・国民健康保険	19億7360万円	・箱原農業集落排水事業	1596万円
・後期高齢者医療	3億6649万円	・鹿島財産区	1,000円
・介護保険	17億9622万円	・カラマツオ外三十山恩賜林保護財産区	40万円
・介護サービス事業	9254万円	・峡南地区ことばの教室共同設置	156万円
・奨学金	0円	・峡南地区充指導主事共同設置	87万円
・簡易水道事業	1億4008万円		
・下水道事業	7億8645万円		
・営農飲雑用水事業	211万円		

### 水道事業会計

収益的支出 2億5652万円  
資本的支出 1億983万円

# 平成29年度決算

9月定例議会を9月7日から21日までの

議会が  
注目!



## 3 財政を見る 3つのポイント

1

財政力指数 0.36

昨年比±0

予算のうち、どれくらい自前の  
税収で賄えているかを表します。  
この指数が高いほど財政力が  
強いことを示しています。

2

経常収支比率 79.5%

昨年比3.6ポイント増

人件費など毎年かかる固定費  
の割合。数値が低いほど政策的  
に使えるお金が多いことになり  
ます。

3

実質公債費比率 10.6%

昨年比0.7ポイント増

一般会計が負担する借金返済  
費用の割合。数値が高いほどほ  
かの事業にあてる財源を圧迫す  
ることになります。

このような事業が行われました

出

産祝金を支給

356万円

- 新たに創設した祝金制度29年度は74人に支給  
第1子3万円、第2子5万円、第3子以降10万円

ご

みの処理費

1億6421万円

- 本年度は約3000トンのごみを  
中巨摩広域清掃センターへ搬入
- 町民の皆さんの分別、リサイクルの  
意識向上で昨年度より約200トンの  
中巨摩広域負担金、搬入運搬委託に支出

新

児童センター建設に

6341万円

(29年度支出分)

- リア建設に伴い、ますほ  
児童センターが移転
- 子どもたちの新たな  
施設の建設に関わる経費を支出

小

中学校の校舎を安全整備

1億8424万円

- 増穂小学校窓ガラス飛散防止フィルム貼り  
増穂中学校建具改修(アルミサッシ化)
- 町内学校トイレ洋式化、各小中学校の  
修繕などに支出

主

要幹線道路に防犯カメラ設置

47万円

- 安心安全の防犯対策に  
平林、穂積、五開の3地区  
の幹線道路に防犯カメラを設置



防犯対策に活躍(平林地区)

# 決算特別委員会レポート

## 全体会

今定例会で特別委員会を設置し9月7日の本会議で当委員会に負託された議案を、9月12日、13日に分科会、18日に全体会を開き、慎重な審査を行った。

### 町への意見

〔国民健康保険特別会計〕  
平成29年度決算では黒字決算となり30000万円の基金積立ができた。レセプトなど被保険者の病状の動向など注視し保険税額の減に努力しているが、本年度以降もまだまだ予断を許さない状況である。今後も予防啓発活動に力を入れ、医療費の抑制に努め、保険税の軽減に繋げてもらいたい。

※レセプトとは  
被保険者の月単位の病名や医療行為の明細

## 総務産業建設分科会

〔政策秘書課〕  
**問** ふるさと納税の件数および金額と、返礼品などに要した経費は。

**答** 寄附全体では3172件、4132万5700円で、返礼品および送料などに要した経費は、1656万2200円であった。納税額に占める返礼品や事務費などの経費割合は約4割である。



ふるさと納税返礼品の一例

〔産業振興課〕  
**問** 指定寄附金890万円の道の駅富士川整備寄付金とは。

**答** (株)富士川からの寄附金

である。町は、寄附金を基金として積み立て、今後必要となる道の駅富士川の改修経費に充てる。

### 〔土木整備課〕

**問** 町道大柗大久保線の改良工事の計画は。

**答** 県道42号(旧国道52号)から、まずほ文化ホール西側町道までの区間である。

**問** 橋梁定期点検業務とは。

**答** 町内159の橋梁について29年度は34橋の点検を実施した。また、5年間の計画で全橋梁の点検を行っていく。

**問** ゆずの郷地区換地計画業務委託とは。

**答** 穂積地区の点在している農地を集約することにより、農業振興を図る計画である。

### 〔都市整備課〕

**問** 雑収入の大法師公園桜枯木伐採に伴うチップ材とは。

**答** 伐採した枯木をチップ材に加工し、売却した収入

である。

**問** 応急危険度判定街区デジタルマップ作成業務とは。

**答** 判定士が、災害時に被災した家屋の倒壊危険度を速やかに判定するため、住宅地図のデジタルマップに、判定区域を重ねた判定調査マップの作成である。

**問** 大法師公園内の委託業務の内容は。

**答** ツツジ、サツキの剪定、桜の維持管理や消毒などである。

### 〔管財課〕

**問** 町民バスの運行状況、運転手の賃金算出根拠は。

**答** 県内100日、県外3日、計103日運行した。賃金は県内の場合1日1万7000円、県外の場合1日2万円である。

### 〔上下水道課〕

簡易水道事業特別会計

**問** 簡易水道の水質検査の頻度は。

**答** 5カ所ある水源を1ヶ月に1度の割合で実施している。

# 教育厚生分科会

## 【生涯学習課】

**問** 青少年育成カウンセラーの勤務体制は。

**答** 週4日（月～木）で、青少年の育成および支援に務めている。

**問** 民俗資料館の耐震診断業務の結果は。

**答** 耐震不足の結果であった。県の指定文化財であるので、今後の使用に関しては県と協議していく。

**問** トレーニング室施設内内装整備負担金とは。

**答** ブルーアースMY・BODY富士川の内装工事にかかった費用を5年間で支払うものである。

## 【教育総務課】

**問** 旧増穂西小学校財産処分国庫補助金返還とは。

**答** 旧西小を国の補助金で壁の塗装を行った。建物の処分制限期間前に民間に譲渡したので、国に補助金を返還した。

## 【福祉保健課】

**問** ヘルプマークおよびカ

ード作成の枚数は。

**答** 重度心身障害者医療費助成制度の対象者約600人分として作成。さらに推

進していく。

**問** 人間ドックを委託しているが、富士川病院の健診率が低い理由は。

**答** 厚生連のほうが契約期間が長い。過去のデータがあることから受診を希望する方がいる。今後は、富士川病院での健診率向上のため、協議していく。

**問** いきいき筋力教室事業を委託しているが、開催状況は。

**答** 24カ所で月1～2回開催。今後、地域のサポートが講師として指導ができるよう、育成していく。

## 【介護保険特別会計】

**問** 基金の保有額は。

**答** 本年度は4517万4千円を積み立て、現在は8889万4千円である。介護給付の抑制が進んでいる。

## 【町民生活課】

**問** コンビニ交付システム

負担金を支出しているが、住民票等のコンビニ交付枚数が伸びてない。マイナンバーカードの取得が少なく、カードの申請手順が分かりにくいのではないかと。PRの方法はどうしているのか。

**答** 転入・転出等の手続時に取得をすすめている。申請は、スマホを使って簡単に手続きできるようにしている。

**問** リユース食器導入促進事業の補助金の限度額があるのか。

**答** 限度額は設けていない。利用に応じ補助している。

**問** 中巨摩地区広域事務組合負担金のゴミ分別収集状況が、昨年度より減少している理由は。

**答** 町民の分別・リサイクルに対する意識が向上している結果である。

**問** 食品残渣堆肥処理業務委託の実績は。

**答** 小中学校、保育所から月約1トの搬入量となっている。

## 【国民健康保険特別会計】

**問** 基金積立について、昨

年は3000万円の積立となったが、基金残高は。

**答** 平成28年度までは基金積立がなかったため、残高は3000万円である。

## 【子育て支援課】

**問** アスベスト調査委託の調査結果は。

**答** 非飛散性であり、健康に直ちに影響はない。

**問** 病後児保育事業委託の利用者状況は。

**答** 利用者はなかった。今後、県内の他施設の病児保育を利用する際、県のアプリを利用して空き状況等が確認できることを、広報で周知していく。

**問** 産後ケア事業支援負担金の実績は。

**答** 育児に対しての不安から、1人の利用者があった。今年度は3人の利用申請がある。

**問** 不妊治療費支援事業補助金の実績は。

**答** 11人に対して5人の懐妊に繋がった。

## 監査委員の決算審査意見 (抜粋)

- 1、決算審査の結果、決算書・明細書は、関係法令に準拠して作成されており、適切なものと認められた。
- 2、29年度決算の総額は、一般会計と特別会計を合わせ、歳入が140億3千9百万円（対前年度3・3%増）、歳出が133億2千5百万円（対前年度4・2%増）となった。
- 3、医療・介護費用については高齢化社会の進行に伴い、財政負担がさらに増加することが見込まれる。医療費の抑制に向けて、予防対策の推進、総合検診の受診率向上などへの取り組みが必要となる。
- 4、地方の経済は依然として不透明で、雇用の拡大や地価高騰の兆しは都市部が中心であり、地方にとって、今後も厳しい財政運営が続くものと推察される。財源確保・税負担の公平性等により、引き続き収納率向上に各課連携した取り組みが必要となる。

代表監査委員 山下博良  
監査委員 長澤 健

# 9月定例会 で決まったこと

平成30年9月定例議会を7日から21日(15日間)まで開催した。30年度の補正予算、条例改正及び29年度決算など16案件を審議し、すべて原案のとおり可決、認定した。

一般会計補正予算 1億5173万円  
補正後の予算総額 92億2905万円

## おもな一般会計補正予算

・児童センター備品(机、椅子など)	793万円
・まほらの湯脱衣場床・塩の華外壁等改修工事	923万円
・町民体育館解体工事	1億782万円

## おもな特別会計補正予算

・介護保険特別会計補正予算	8004万円
・下水道事業特別会計補正予算	300万円

## おもな質疑

- 問** 体育館に使用されているアスベストは危険ではないか。
- 答** 飛散性アスベストだが、通常は固まっているので危険ではない。
- 問** 児童センター補正予算のなかで、机・椅子などの選定方法は。
- 答** 備品の選定は職員が行った。
- 問** 地方債補正予算は一般財源で賄わないのか。
- 答** 財源としては、有利な地方債を活用する。
- 問** 町道大法師道路改良工事の債務負担行為とは。
- 答** 役場の会計は単年度会計となっており、今年度で終了しない工事は来年度までかかる。債務負担行為処理を行い、来年の予算確保を業者に確約する。
- 問** 青柳32号線物件補償費に国庫補助が付かなかったことで、事業計画に遅れが発生するか。
- 答** 事業年度に変更なし。
- 問** ふるさと納税の件数、金額および前年度との比較は。
- 答** 7月末迄で1450件、1613万4千円。前年同期は1455件、1366万3千円で金額は昨年より1・18%伸びている。
- 問** 青柳9号線測量設計費の内容は。
- 答** 道路の拡幅工事の道路詳細設計と用地測量費用。
- 問** 青少年育成区民会議の在り方について、どう検討していくのか。
- 答** 会議内容を含めた全体的なやり方について検討する。
- 問** 副町長の給料改正提案は、副町長を置く予定があるのか。
- 答** 現時点で副町長を置く考えはない。
- 問** 現存しない副町長の給料改正が必要か。
- 答** 条例で副町長が置けることになっているので、現存しなくても全国類似団体の平均に持っていくよう提案した。

# 討論

## 富士川町長等の給与及び旅費 条例の一部を改正する条例

(改正内容) 副町長の給料月額を、現行56万8千円から58万円に改正。

### ●原案反対 笹本寿彦

富士川町では副町長を置くことができること、月額報酬は56万8千円であると条例で決められている。しかし、現存しない副町長の給与を現時点で改正することは反対。

### ●原案反対 成田 守

報酬などは町の規模や財力によって決めるべき、他町を参考に給与を改正するには反対。

### ●原案賛成 鮫田洋平

特別職報酬等審議会で2回にわたる慎重な審査の結果、議員報酬と特別職の給料は、全国類似団体の平均水準で良いとなった。

本町には、副町長を置く条例があることから、低い水準にある副町長の給料を、全国類似団体の平均水準に引き上げておく必要があると考える。

### 【採決結果】

#### ●原案に反対

笹本寿彦、成田 守  
青柳光仁、堀内春美

#### ●原案に賛成

秋山 仁、樋口正訓  
井上和男、望月 眞  
秋山 稔、小林有紀子  
深澤公雄、鮫田洋平  
長澤 健

## 公表します 議員の賛否

### 平成30年9月定例会 審議した議案とその結果

議案名	秋山 仁	樋口 正訓	笹本 壽彦	井上 和男	望月 眞	秋山 稔	成田 守	小林有紀子	深澤 公雄	青柳 光仁	堀内 春美	鮫田 洋平	長澤 健	結果
手数料条例の一部改正(不正競争防止法等の一部を改正する法律による工業標準化法の一部改正に伴うもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長等の給与及び旅費条例の一部改正(副町長の給料の額の見直しに伴うもの)	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	可決
固定資産税の不均一課税条例の一部改正(地域再生法の一部を改正する法律等の施行に伴うもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
ひとり親家庭医療費助成条例の一部改正(所得税法等の一部を改正する等の法律の施行に伴うもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
放課後児童健全育成事業の設備及び運営条例の一部改正(放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令等の施行に伴うもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
家庭的保育事業等の設備及び運営条例の一部改正(家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の施行に伴うもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度かじかの湯事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
公の施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町民交流広場整備工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度一般会計及び各特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成29年度水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
町道路線の認定(最勝寺23号線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
町道路線の認定(起し1号線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

**問** 町民体育館解体による避難場所は

**答** 避難場所は使用地区を限定しない



井上和男議員



町民体育館

**問** 町民体育館および児童センターはリニア建設に伴い、今年をもって使用停止となり、解体準備に入る。両施設は平成27年制定の地域防災計画書で小林区、脊米区、天神中條区の避難場所に指定されている。施設解体に伴い、対象地区の新たな避難場所は。

**防災課長** 町の地域防災計画では町内全域で81カ所の施設を、指定避難場所として指定している。これらの施設は使用地区を限定し

ているものではない。なお、地域防災計画にある指定避難所の地区名の表記が、住民の皆さまの混乱を招くことから、現在、計画書の見直しを行っている。

**問** 防災計画書の地区表記を削除するだけでなく、住民への啓蒙活動が必要ではないか。

**防災課長** 防災計画書の見直しを行う中で、広報およびホームページ等を活用して住民の皆さまに周知していきたいと考えている。

**問** 利根川公園のテニスコート西側にある公園内トイレは、昭和63年頃に建設され老朽化がすすんでいる。また、テニスコートが全天候型に改修されたことにより利用人数が増加している。特に峡南地区の中学生大会が実施されており、西側ト

**テニスコート隣接トイレの改修は**



テニスコート隣接トイレ

イレを利用してはいるが、評判が良くない。トイレの改修計画は。

**都市整備課長** 昭和63年3月に整備されたもので、老朽化が進んでいることは認識している。公園やテニスコート利用者のニーズに対応した計画も必要と考える。国の交付金事業を検討する中で、トイレを含めた公園施設の改築を進めていく。



菅本 寿彦 議員

**問** 広報に随意契約や落札率などの記載を

**答** 入札情報は現在の形で記載していく

山梨県内の某町 広報に記載してある入札結果報告

契約番号	入札日	工事名・業務名	工事場所	落札業者	予定価格	落札額	落札率	工期
1	7月	町道〇〇線 樹木伐採工事	美ヶ原区	ABCグリーン ワーク(株)	785万円	760万円	96.82%	〇月 〇日
2	7月	美ヶ原公園 人工芝張替工事 及び修繕工事	美ヶ原区	(株)XYZ建設 甲府支店	8221万円	8000万円	97.31%	〇月 〇日

掲載項目について他町と比較

【広報 ふじかわ】に記載してある「入札結果を報告します」(7月分)

工事名・件名	場所	落札金額(円) (消費税抜)	落札者
富士川町学校給食センター 実施設計業務委託	小林	21,400,000	総合建築設計事務所
富士川町流域関連公共下水道 全体計画見直し及び都市計画 決定図書作成業務委託	富士川町	4,500,000	オリジナル設計(株) 山梨事務所

※広報ふじかわ平成30年9月号から抜粋(実際の掲載サイズとは異なります)

**問** 広報の在庫の処分方法は。政策秘書課長 毎月6100部を作成し、おおむね250部を古紙回収でリサイクルしている。  
**問** 金額にすれば毎年15〜20万円分を無駄にしてい

る。無駄を省く努力は。政策秘書課長 来年度は在庫等を確認し適正な部数で予算を作成する。  
**問** 広報ふじかわに約347万円かかっているが、これらの大きな随意契約も記載して町民に知らせたら

どうか。

**管財課長** 随意契約は広報誌には記載しない。

**問** 他町では予定価格や落札率などを詳しく記載している。我が町も、詳しく落札率などを記載するべきではないか。  
**管財課長** 公表義務のある10項目以外は、申し出により窓口で閲覧できる。また、ホームページに「入札結果一覧」として公開している。広報に落札率記載は可能だと思うが、文字が小さく読みづらくなる。入札情報は現在の形で掲載していく。

**富士川町消防団について**

**問** 団員の勧誘に苦勞しているが、その対策は。

**防災課長** 消防団員サポート事業や、準中型自動車免許等取得費補助金交付制度を推進している。

**問** 団員の中で公務員が60人以上となり、役場職員への負担が大きくなっている

という話があるが。

**防災課長** そのような情報等は寄せられていない。

**問** 火災出動1回千円、警戒や訓練1回で800円は低額過ぎる。火災出動1回で千円の1回とは。

**防災課長** 時間にかかわらず1回のことである。

**問** 団員の退職金は5年ごとの計算であるが、例えば19年勤めても15年分しか退職金が支給されないのか。  
**防災課長** 19年の勤務では15年間と同額である。山梨県市町村総合事務組合で共同処理しており、条例の支給額表で算定しているものである。

**問** 条例は守らなければならないが、時代不相応な金額や、不公平な条例ならば、富士川町から正論を述べて改革できないか。

**防災課長** 報奨金の額について、現在も過去も不満を聞いたことはない。富士川町だけで運営している規定ではないので、現組合の条例に従っていく。

# 問 富士川舟運の歴史保存は

## 答 早速調査し 展示するか検討する



秋山 仁 議員



かつて賑わいをみせた鰻沢河岸

**問** 富士川舟運の遺物、写真、資料などを1カ所に収集展示の予定があるか。

**生涯学習課長** 社会の変遷や生活環境の変化を知る上で、大切なことと認識している。歴史的な価値がある資料などの調査を行い、町の資料も含めた集約展示が可能か検討していく。

**問** 町立図書館に資料展示を併設することが望ましいと思うか。

**生涯学習課長** 舟運の書物に関する設置は検討しているが、遺物に関する展示は考えていない。

**町長** どのくらい資料があるか早速調査し、集約展示ができるか検討し、量によ

っては別の建物で舟運の館みたいな形で検討していく。

### 防災ラジオの普及は

**問** 防災ラジオの普及率があまりに低いのが、今後普及啓発活動にどのように取り組むか。

**防災課長** 区長会や広報・ホームページを活用し、ラジオの良さを伝え募集を行っていく。

**問** 一人暮らしの高齢者や、防災無線の聞こえない世帯に貸与したり、ラインアップで伝達することもいかがか。

**防災課長** SNSとの仕組みの検討も行っており、アプリなども活用できれば今後検討していく。

**問** 防災ラジオ普及のため購入費用の一部を助成するような考えはあるか。

**防災課長** 個人の所有物になるため、所有者負担として導入当初よりご理解いただき整備してきた。相互負担による導入経過があり購

入費用に助成の考えはない。

**自治会加入していない世帯への対応は**

**問** 自治会未加入世帯に、どのような取り組みを行うか。

**財務課長** 戸籍窓口で加入チラシを配布し、広報や定住パンフレットにより加入促進をしている。今後も区長と連携を図りながら加入の意義やメリットを伝え、またCATVのデータ放送も活用し増加に繋げる。

**問** 未加入世帯の災害時の対応はどうするか。

**防災課長** 災害時に未加入世帯を差別するものではなく、避難所の利用や、物資の支給などの事態発生時も加入世帯同様の対応をすることになる。

**問** 所在がはっきりしないと安否の把握ができないか。

**防災課長** 安否確認は避難してきた場合、避難所で名簿の確認などを必ず行う。

**問** 所在がはっきりしないと安否の把握ができないか。

**防災課長** 安否確認は避難してきた場合、避難所で名簿の確認などを必ず行う。

**問** 所在がはっきりしないと安否の把握ができないか。

**防災課長** 安否確認は避難してきた場合、避難所で名簿の確認などを必ず行う。

**問** 所在がはっきりしないと安否の把握ができないか。

**防災課長** 安否確認は避難してきた場合、避難所で名簿の確認などを必ず行う。

**問** 所在がはっきりしないと安否の把握ができないか。

**防災課長** 安否確認は避難してきた場合、避難所で名簿の確認などを必ず行う。

**問** 所在がはっきりしないと安否の把握ができないか。

**防災課長** 安否確認は避難してきた場合、避難所で名簿の確認などを必ず行う。



秋山 稔 議員

## 問 強靱化計画の 林道整備の現状は

## 答 各地区と契約し 管理を実施

**問** 孤立集落防止化のため  
の幹線道路および林道の改  
良整備・保守・管理の現状  
は。

**土木整備課長** 富士川町国  
土強靱化計画で対象とした  
林道は7路線、未舗装とな  
っているのは林道北山線の  
みであり、22年度から舗  
装工事を進め、現在全体の  
2割を完了している。また、  
毎年、増穂地区は地元3地  
区と委託契約、鵜沢地区は  
業者委託契約して保守・管  
理を実施している。

### 国庫補助金・森林環境税 を財源とした森林整備は

**問** 春米の北山整備につい  
て27年度から5カ年計画  
で推進事業を行っている。  
27年度から29年度までは  
実施済みであるが、その後  
は事業内容を検討し実施す  
るとある。今後の整備計画  
は。

**産業振興課長** 当初全体計  
画では、峡南森林組合が眷  
米北山・遠田・平林鷹尾山  
を計画対象とし策定、町の

認定を受け間伐整備を実施  
した。今年度は他の地区を  
含め利用間伐箇所を調査し、  
32年5月まで実行計画を  
検討している。

### 災害発生時の 救助体制は

**問** 平日の日中、人手の少  
ない時間帯に、地震などの  
災害が発生した場合の救助  
体制は。

**福祉保健課長** 町の高齢者  
5人に1人は独居高齢者で  
ある。救助体制は地域コミ  
ュニティーの力が最も大切  
と考えている。平日頃から  
避難行動に対する意識を高  
めていただくようお願いを  
している。対策の1つとし  
て、昨年度災害時避難行動  
要支援者登録台帳の整備を  
進め、同意を得た方の名簿  
を先般、区長・組長・民生  
委員に配布した。早めの支  
援ができるよう活用してい  
ただく。きめ細やかな体制  
を区と連携し構築していき  
たい。

**問** 名簿に載っていない方  
も助ける必要がある。名簿  
に載っている方の周知は区  
長・組長・民生委員に全員  
に周知したのか。

**福祉保健課長** 町は名簿の  
配布については、初めてで  
ある。各区にはそれぞれの  
方法がある。配布方法を検  
討する中で意見を伺い、今  
後については改善を行う。



北山林道整備状況

**問** 新庁舎建設より  
学校が先では

**答** 予算を考え  
計画的に順次進める



青柳光仁 議員

**問** 町内の小中学校は耐震化されたが、何年程度長寿命化されたのか。

**教育総務課長** 耐震化工事は長寿命化改修とは異なり、何年長寿命化されたと一概にはいえない。

**問** 鵜沢小学校は築後51年、増穂中学校は築後47年である。耐震工事と長寿命化は別というのであれば、建て替え時期は何年後か。  
**教育総務課長** 今後、長寿命化計画の策定を検討する。

**庁舎建設計画は**

**問** 庁舎建設計画の中で長寿命化については検討したか。

**管財課長** 平成9年の耐震診断で検討したが、補強や耐震壁増設により執務環境が狭くなり、多額な工事費用もかかるため耐震化を断念した。

**問** 耐震基準で小中学校と同程度の耐震力がある議会棟は、庁舎新築からの除外は検討したのか。

**管財課長** 既存施設を存続させることは、新庁舎の一体的整備が制限されるため撤去し、新庁舎を建築する方針である。

**問** 役場庁舎整備検討委員会の議事録は、新庁舎建設から入っている。耐震化やリノベーション、一部新築などの意見はない。改めて新庁舎建設の必要性は。



築47年の増穂中学校

**管財課長** 現庁舎は行政機能が分散し、ワンストップ対応ができず、行政効率低下している。また、バリアフリー対応なども不足し経年劣化が目立ち、維持管理費の増大も見込まれる。防災拠点としても必要な耐震性能が満たされず、新庁舎建設が必要である。

**問** 公共施設の建て替えを考えるなら、47年、51年経過し、長寿命化もされていない学校が先ではないか。  
**町長** 庁舎と学校を一緒に建て替えることは、この町が行き詰まってしまう状況になる。町とすれば、予算と相談しながら計画的に考える。

【その他の質問】

- ・ 峡南医療センターの経営状況について
- ・ 防災と避難について



長 沢 けん 議員

## 問 新庁舎木質化に 長けた業者の優先は

## 答 プロポーザルの 選定基準で考える

### 新庁舎の木質化は

**問** 新庁舎の木質化についての考えは。

**町長** 「富士川町新庁舎整備基本計画」「富士川町内の公共建築物等における木材の利用の促進に関する方針」に、内装等の木質化を図る、とある。新庁舎建設も、積極的に木質化を図る。プロポーザル公募の時点で、木質化に長けた業者優先を明記できないか。

**町長** プロポーザル(※)に応募する業者を選定する基準の中で考える。

### 交差点のラウンドアバウト化は

**問** 信号機を設置できない町道巻米小林2号線と、廃軌道の交差点のラウンドアバウト化の考えは。

**土木整備課長** 設置には外

径26m以上必要。周辺は住宅があり設置は困難だが、西側の金手小林2号線との交差点に設置可能か検討。

なお、この交差点も警察署と協議し安全対策を施す。

**問** 町道大柵大久保線が開通すると、町道金手小林2号線、廃軌道、県道42号線の交差点が近く、信号機を設置するのは難しい。ラウンドアバウト化の考えは。

**土木整備課長** 町道金手小林2号線の交差点は、信号の設置要望を行う予定。廃軌道はラウンドアバウトの基準を満たさない。県道42号線との交差点に設置が可能か検討する。

**問** 以前、県道平林青柳線とウエスタンラインの交差点へは、信号機を設置できないと警察から回答をもらった経緯がある。ラウンドアバウト化の考えは。

**土木整備課長** 県道平林青柳線の交通量や道路勾配、用地など、さまざまな要因と必要性を峡南建設事務所と協議する。

### 天井川の 防災対策は

**問** 新利根川は、大久保区、天神中條区、最勝寺区の天井川だが、ハザードマップでは、土砂災害警戒区域に指定されていない。天井川の防災対策の考えは。

**防災課長** 降雨時、河川の水位を確認できる水位計の設置を早急に県に要望し、



天井川となる新利根川の防災対策を

避難情報の周知に対応する。

【その他の質問】

・桜回廊の活用について

※プロポーザルとは

建築物などに対して複数の業者からの提案書を審査し、優れた提案を行った業者を選定すること。

## 問 教員の給食費徴収業務は町で行うべき

## 答 32年4月に向け準備したい



堀内春美議員

**問** 6月議会で教員が非常に苦勞している給食費の徴収事務を、町で行うべきだと質問したが、給食センターが完成して給食運営をセンターが行うという段階で、公費での会計に移行していきたいということだった。文科省で教員の働き方改革の見直しから、自治体が直接するよう方針を決めたが、町の考えは。

**教育長** 本年7月、文科省からは学校給食費について公会計処理する事を基本とし、徴収管理業務を自治体が担っていくよう通知された。町では32年4月に向けての準備を進めていきたくと考えている。

**問** その事について給食費の完全無償化にすれば、先生方の徴収義務もなくなる。その辺から考えることはできないか。

**教育長** 現時点では、完全無償化については考えていない。

**問** 今、町で進めようとしている30億円の庁舎建設、

35億円の体育館建設。これのわずか5%、3億2千5百万円を、無償化と徴収事務を廃止することに回すという考えはないか。

**町長** 体育館は学校給食とは関係ない予算を使っている。道路を一本削れば、何かができるというものではない。

### 増穂中テニスコートの砂ぼこりは

**問** 増穂中学校テニスコートの近隣住民から、平成23年8月に砂ぼこりの苦情とコートの改良要請が出されているが、その対処は。

**教育総務課長** フェンスに防砂用ネットを設置したが、本年度からは土ぼこりを抑える効果がある塩化マグネシウムを定期的に散布することにより、土ぼこりの軽減に取り組んでいる。

**問** 全天候型コートにすれば一時的にはお金がかかるが、近隣住民というのは税金を納めている人たちである。町長の公約に町民に寄

り添う町政をとある。お互いの幸せのために必要ではないか。

**教育長** 予算計画もあるもので、現時点ではすぐにできるといふ答弁はできない。

【その他の質問】  
・増穂商業高校跡地に社会を支える職業人材を育成する高等教育機関の設置の公約について



砂ぼこりが問題の増穂中学校テニスコート



望月 眞 議員

**問** ホリデーバスに  
観光周遊コースを

**答** コースを設定し  
活性化を図りたい



ホリデーバス運行に使われているP-LV314Kバス  
(大阪府高石市からの観光客)  
国内で2路線しか走っていない珍しいバスで  
日本各地のバスマニアが乗車・撮影に訪れている

**問** コミュニティバスは、市川三郷町役場付近まで運行延長を申請したらどうか。  
**政策秘書課長** 市川三郷町内に新設校が開設されることにより、本町から通学する生徒が見込まれる。路線延長には運輸局へ申請して

承認を得る必要がある。新設校まで乗り入れができるよう、第一段階として市川三郷町と協議をしていく。  
**問** ホリデーバスにコミュニティとして、町内観光周遊コースを設定し活性化を図れないか。

**産業振興課長** ホリデーバスの運行に合わせ、平林・穂積・五開筋ごとに満喫できる周遊コースをつくり、観光客の誘致を図り地域の活性化につなげていきたいと考えている。  
**問** 鰻沢口駅到着時刻に合わせた運行時刻変更や、十谷線のフォレストモーターで路線延長は可能か。  
**産業振興課長** ルートと時間変更については、可能かどうか踏まえて研究する。  
**問** デマンドバス旧鰻沢地域定時定路線は、昼間に1便増やせないか。  
**政策秘書課長** 鰻沢地区の運行は朝夕の定時定路線2便と昼間の区域運行4便に区分しており、1台で運行しているため、現行の運行時間に増便することは困難な状況である。

**新たに開設予定の給食センターの運営は**  
**問** 「食物アレルギー」の具体的対応は。  
**教育総務課長** 学校給食センター稼働後の「食物アレルギー」対応については、品目により対応がさまざまであり、調理場においてできる範囲での除去食提供を基本に取り組んでいきたい。  
**問** 各校への具体的配送計画は。  
**教育総務課長** 配送車への積載量を確定し、調理終了時間から各校での給食開始時間までを考慮して、安全で確実な配送計画を検討していきたい。配送ルートや時間割について本年度中を目途に決定していきたい。  
**問** 学校給食費の無償化が望まれるが、保護者負担のさらなる軽減の可能性は。  
**教育総務課長** センター稼働後の維持管理費は、衛生管理の徹底を図る中で、コスト削減・節約に努めている。給食費は、同一献立や食材発注等の工夫により削減が図れると考えられる。給食費の減額に努めていきたい。

# 問 庁舎整備検討委員会の目的と役割は

## 答 諮問委員会である



成田 守 議員



耐震性を問われる役場庁舎

**問** 庁舎整備検討委員会などの設置の目的と、構成委員の意見の責任はどうなるのか。

**管財課長** 町議会の代表、障がい者や各種団体の代表、公募町民などの役場利用者から行政サービスの向上、バリアフリーへの対応、建築の専門家からは建物の規模、耐震性など多くの要望や意見を聞いた。

**問** 検討委員会はどこに所属し、責任者は誰か。

**管財課長** 富士川町役場庁舎整備検討委員会、富士川町新庁舎整備基本計画検討委員会は、両委員会とも事務局は役場管財課で、各委員は町長が任命委嘱した。

**問** 検討委員会は町長の諮問機関と位置付けて良いか。  
**管財課長** 両委員会とも目的に沿って報告書を町長に提出する。

**問** この委員会の権限・義務・役割・責任はどう考えられるか。

**町長** 諮問委員会で、意見をいただくための検討委員会。役場のほうで再度検討しながら、整備基本計画を作り上げ、まとめていく趣旨の検討会。

**問** 新庁舎建設によって町民の生活、庁舎で働く職員たちの行政サービスがどう変化するのか。  
**管財課長** 行政機能の集約化と適切な配置、情報システムの活用で行政効率を向上させ、町民へのサービス向上を目指す。

**問** 新庁舎建設によって町民の生活、庁舎で働く職員たちの行政サービスがどう変化するのか。



活用を求められる青柳宿

### 青柳宿について

**問** 青柳宿が閉鎖されている。町の管理者として建築物の評価・位置づけをして有効活用することはどうか。  
**産業振興課長** 老朽化・耐震不足のため公共施設としては活用できないと判断している。これらを活用できる民間事業者がいれば公募により募集を行っていきたい。



樋口正訓 議員

## 問 町制施行10周年 記念事業は何を

## 答 「山車巡行」などを 事業計画



富士川町の玄関口「道の駅 富士川」

**問** 町制施行10周年記念事業の計画は。  
**政策秘書課長** 富士川町は平成22年3月に誕生し、平成32年3月8日に10周年の節目を迎える。平成31年度を記念の年と位置付け、

お祝いの気運を盛り上げるよう現在調整している。記念事業として「山車巡行まつり」「落語鯉沢」「町民交流広場オープン記念イベント」などの事業を予定している。さらにテレビなど

の公開放送、また、交流都市やマスケットキャラクターの募集を予定している。

**問** 道の駅富士川をメイン会場に、次のようなイベント事業ができないか

①道の駅富士川で舟運写真資料の展示、「山車」の展示

②塩の道、関連市町村の物産販売者との交流会

③特産柚子、酒類などの展示販売

④記念事業の商品開発

⑤道の駅・レストランでの創作メニューの提供

⑥町内の遺跡、グルメめぐりおよび食べ歩き

**政策秘書課長** 記念事業に道の駅を活用することは対外的にも大きなPRになると考える。舟運は町の歴史資産のひとつである。今後、道の駅富士川において事業化することも考えられる。また、特産品は活性化組合に情報提供していく。

## 災害協定について

**問** 災害協定先と訓練を行い有事の備えを。

**防災課長** 本町は、公共団体と相互間応援協定を8協定、民間事業所と22協定し、公共団体は、南巨摩郡医師会北部班、富士川病院との間で医療救護所設置訓練を実施した。民間事業所は、食料品などの物資の供給訓練を、町の総合防災訓練に合わせて実施した。今後訓練内容を精査しながら検討していく。

**問** 情報収集にドローンを活用して道路、交通、被災状況などの検証に活用できないか。  
**防災課長** 山梨県の支援を受け、ドローンにより収集して得た情報については被災状況の把握、救助対策の検討などに十分活用できると考える。



小林有紀子 議員

# 問 介護予防にポイント制度は

## 答 導入を検討していく必要がある



フレイルを予防して健康寿命を伸ばそう  
(監修：東京大学 高齢社会総合研究機構)

**問** 「介護予防・日常生活支援総合事業」の課題である、人材育成の状況は、**福祉保健課長** 今年度から介護職員初任者研修の実施や、認知症サポーター養成講座には、現在までに延べ約2千人が受講。

**答** 養成講座を受講しても、

気軽にボランティアをする場がないのが現状である。地域で活躍できる機会を設け、これまでの経験や知識を発揮し、高齢者の社会参加、フレイル予防や地域コミュニティの強化に繋げ、健康寿命の延伸に効果が発揮できるものとして「介護

予防ボランティアポイント制度」を導入すべきでは。**福祉保健課長** この制度は、介護支援に関わるボランティア活動をを行った高齢者に対し、実績に応じて換金など可能なポイントを付与する制度で、県下で約10市が実施。今後は導入も検討していく必要がある。

**問** 大切な子どもの命を守るために欠かせないのが予防接種である。ロタウイルスは乳幼児の急性重症胃腸炎の主な原因で、重大な命に関わる感染症。世界保健機構WHOも、世界中の全ての乳児にワクチン接種を推奨している。

おたふくかぜは重度の難聴や、思春期以降には不妊症の原因にも。重症化の減少と保護者の精神的・経済的負担、集団感染を防ぎ、子育て世代の支援に繋がるものとして、ロタウイルスとおたふくかぜの任意予防接種を公費助成にすべきと考えるが。

**問** この制度のポイントの還元は、商店街で利用できる商品券など、商工会と連携して取り組めないか。**福祉保健課長** 地域の循環になるように連携したい。

**問** フレイルの兆候を早期発見し、予防を行うための「フレイルチェック」は介護予防事業に効果が期待できる。今後、講演会やサポーターの養成講座の実施が必要ではないか。**福祉保健課長** 今後、総合的なフレイル予防サポーター講座として、開催できるか検討していく。

**問** 任意接種は自己負担が高額である。子どもの健やかな成長、命を守るために支援が必要ではないか。**町長** 必要性は感じるが、後遺症を考え検討したい。

**子育て支援課長** 任意接種の助成ではなく接種後の健康被害について、確かな救済制度のある定期接種での実施を考えている。

平成30年  
第2回臨時議会

7月30日、第2回臨時議会を開催し、一般会計補正予算3件と、契約締結の承認案件1件を審議し、原案のとおり可決・承認した。

■補正予算の内容

危険なブロック塀撤去改修工事(3件)  
1208万1千円

◇増穂小学校・増穂中学校・町有鰍沢団地等のブロック塀撤去改修工事

■契約の締結

リニア高下工事用道路整備工事請負契約の締結

- ・契約金額 6750万円
- ・指名競争入札
- ・契約の相手  
富士川町小室  
井上建設株

組合議会報告

峡南医療センター企業団

8月24日、峡南医療センター企業団議会第2回定例会が開催され、29年度峡南医療センター企業団会計決算認定が上程され、原案のとおり承認可決を採択した。

29年度より総務省繰出基準を採択したことにより、本年度は負担額が大幅な増額(2億6997万4千円)と改革プランの着実な取り組みにより、損益状況は大幅な改善となった。主な取り組みとして、収益増加に向け、地域包括ケア病床の実施、地域連携活動の強化による紹介患者の増加、ベッドコントロールの効率的な運用による入院患者の増加、新たな診療報酬加算の届け出を実施した。

平成29年度決算

営業収益	39億440万円
営業費用	44億3651万円
営業損失	△5億3211万円
営業外収益	6億6543万円
営業外費用	1億3652万円
経常損益	△320万円
当期純損失	△142万円

中巨摩地区広域事務組合

9月28日、中巨摩地区広域事務組合議会定例議会が開催され、30年度補正予算5件、29年度決算認定6件、同意案件1件を原案のとおり可決した。

補正予算案件は、主に焼却炉のバグフィルター交換工事や修繕費、人事異動などに関わる支出である。また、同意案件では鮫田洋平議員が監査委員に同意された。

平成29年度中巨摩地区広域事務組合決算総括表

会計名	決算額	富士川町負担金
一般会計	4293万円	294万円
ゴミ処理特別事業	11億8512万円	8320万円
地区公園特別事業	847万円	77万円
老人福祉特別事業	3733万円	282万円
勤労青年特別事業	4612万円	368万円
し尿処理特別事業	2億4107万円	0万円
合計	15億6105万円	9341万円

富士川町議会  
議員行政視察研修

- 視察研修地 福島県伊達郡国見町役場
- 研修目的 新庁舎に関わる議事堂視察
- 参加議員 全14人 日程 8月2・3日

国見町は福島県最北部に位置し、西に山形県、東に宮城県県境の町です。人口は富士川町より少なく約9300人で、生産果実は桃・ぶどう・ラフランスなどと似ています。2011年の東日本大震災で役場庁舎が大きく被災したため、復興債を費やして新築しました。「国産木材を多く使用し、暖かみのある木質建築」と「木材をふんだんに使用した議事堂」などが、今回の視察目的でした。研修後の感想などを、ぜひ各議員にお尋ねください。



地元木材を利用した国見町役場議事堂

# 住んでみてどうでえ？

## 富士川町へようこそ

- ① 富士川町に住むことになったきっかけは
- ② 富士川町に住んでいる期間は
- ③ 富士川町の住み心地は
- ④ その他

### 最勝寺区 多賀 博さん

- ① 海外のプロジェクト（ディズニーランド建設）が終了して国内を旅行していた際、昔からの友人のやっている巻米の自然農園をお手伝いすることになり山梨に来ました。毎日農作業を手伝い、富士川の自然、環境、人に接しているうちに、ここ富士川町に住みたいと思うようになりました。
- ② 2017年6月に最勝寺地区に移住しました。
- ③ 買い物には不便な点がありますが、自然環境に恵まれ満足しております。
- ④ 移住した当初は、ご近所の人たちとのお付き合いに関して不安がありました。仕事の関係上現在は自治会には入っておりませんが、時間が取れば自治会の作業に参加させていただくなどして、ご近所の方たちには非常に良くしていただいております。これからはもっと移住者にとって、特に若いご家族などに行政的な支援などを含め、移住しやすい環境を整えていただきたいと思います。



休日にはのんびりしま～す

### 五開区 遅塚智則・真美子 さん

- ① 2015年に自分たちの手作り結婚披露パーティーを1泊2日で開催し、とても楽しかったので、人が集う場所＝「宿」をやることを思いつきました。それを友達に話していたところ、十谷に良いご縁をいただき、今年移住しました。
- ② 2018年1月から10カ月になりました。甲府盆地内の道路マップがだいご頭に入ってきました。
- ③ 心地よく暮らしています。なぜなら、同じ価値観をもつ移住仲間が町内にいるからです。彼らと本音で語り合い、励まし合い、紹介し合って、お互いの事業を盛り上げています。十谷の近所の方や大家さんには、普段の生活のことなどを気軽に相談に乗っていただき、助かっています。
- ④ 2018年6月に1日1組限定の民宿を開業いたしました。珍しい円形のヒノキ風呂を薪釜で沸かす体験が好評で、お子さまも夢中になっています。食事は自炊タイプで、ヘルシーなのに満足感のある

雑穀料理作り体験も人気です。平日利用できる日帰り体験プランをご用意いたしました。ホームページ「ほっこり屋」で検索してください。

趣味

智 則：オーディオ、鉄道模型、アニメ。

真美子：雑穀甘酒作り、山歩き、happyちゃんの動画を観る

